

平成27年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成27年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

決算審査の対象は、病院事業庁が経営する平成27年度の三重県病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められます。

(以下、この概要説明においては、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

(1) 平成 27 年度決算と新たな経営計画の策定等について

平成 27 年度病院事業会計の経常収支は、入院収益が増加した一方、給与改定により給与費も増加したことなどにより、26 年度決算とほぼ同額の 7,219 万円の黒字となっています。

総収支は、7,494 万円の黒字（純利益）であり、前年度に比べ 14 億 22 万円改善しています。これは、平成 26 年度決算では会計基準の改正に伴い、特別損失に計上した退職給付引当金等 13 億 9,713 万円が、27 年度決算ではなくなったことなどによるものです。

しかしながら、当年度未処理欠損金（累積欠損金）は、前年度より改善したものの、約 93 億円と依然として多額であることから、より一層経営の健全化に努めていただきたい。また、全国の同規模もしくは類似の公立病院や民間病院との経営比較などベンチマーキングを行い、より良い病院経営に取り組んでいただきたい。

病院事業庁では、中期経営計画に定める平成 27 年度の目標のうち、常勤医師充足率など未達成の項目もいくつか見られるほか、新たな中期経営計画の策定が課題となっています。

引き続き、常勤医師の確保に努めるとともに、各病院がそれぞれの役割・機能を十分に発揮できるよう、今後求められる医療ニーズを考慮した次期中期経営計画を策定し、計画の着実な推進を図っていただきたい。

なお、平成 27 年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりです。

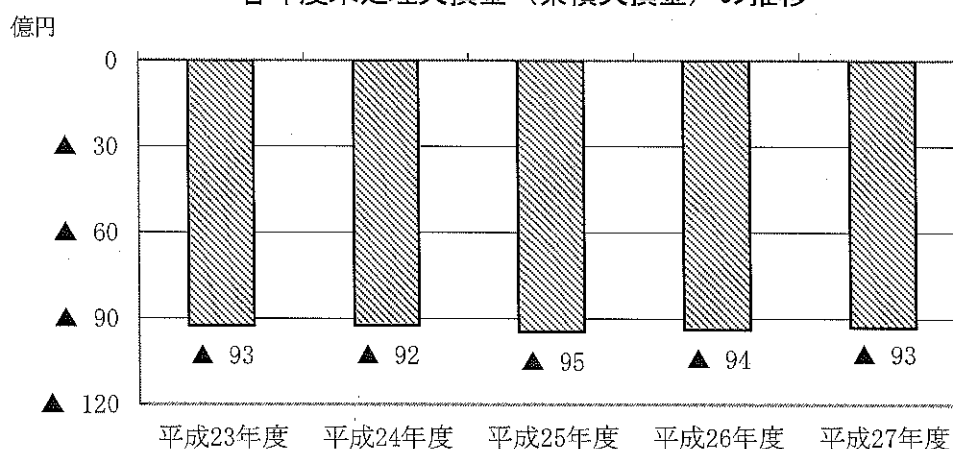
収益的収支の状況

(単位：円)

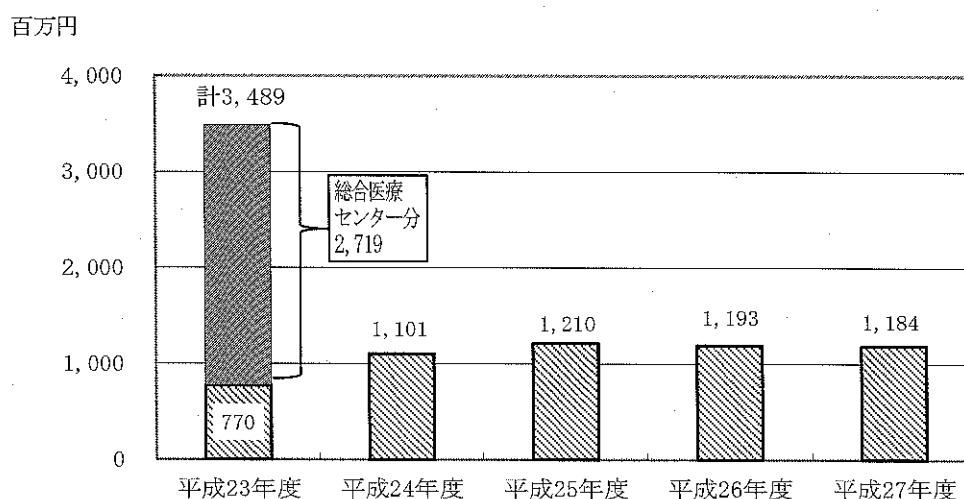
病院名	区分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	増減 (A) - (B)
こころの医療センター	経常収支	50,005,454	64,156,361	△ 14,150,907
	総収支	51,364,997	△ 1,038,517,839	1,089,882,836
一志病院	経常収支	27,446,148	21,703,843	5,742,305
	総収支	27,266,068	△ 263,957,957	291,224,025
志摩病院	経常収支	△ 5,258,388	△ 14,005,882	8,747,494
	総収支	△ 3,686,593	△ 22,803,882	19,117,289
計	経常収支	72,193,214	71,854,322	338,892
	総収支	74,944,472	△ 1,325,279,678	1,400,224,150

(注) 経常収支は、総収支から特別利益・特別損失を除いたもの。

各年度未処理欠損金（累積欠損金）の推移



正味運転資本（内部留保資金）の推移



(注) 正味運転資本(内部留保資金)

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産(貸倒引当金を除く)から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債(企業債・引当金を除く)を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。

ア こころの医療センター

経常収支は、前年度に比べ1,415万円減少していますが、5,000万円の黒字となっています。

総収支は、5,136万円の黒字であり、前年度に比べ10億8,988万円改善しています。これは、平成26年度決算では会計基準の改正に伴い、特別損失に計上した退職給付引当金等11億267万円が、27年度決算ではなくなったことなどによるものです。

今後も「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、精神科医療の中核病院としての役割や機能の充実を図るとともに、引き続き、入院・外来患者の確保や急性期病棟における適切な病床運用による稼働率と診療単価の向上などにより、経営の健全化を図っていただきたい。

(参考)

項 目	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	備考	26年度 全国平均
1日平均入院患者数 (人)	279	282	296	322	328	多いほど よい	193
1日平均外来患者数 (人)	255	260	253	257	257	多いほど よい	136
患者1人1日あたり入院収益 (円)	18,146	17,195	16,547	17,015	17,172	多いほど よい	18,355
患者1人1日あたり外来収益 (円)	5,892	5,623	5,771	5,732	5,807	多いほど よい	8,578
経常収支比率 (%)	101.5	102.0	100.1	103.8	108.1	高いほど よい	100.6
医業収支比率 (%)	76.3	75.2	76.3	81.4	84.5	高いほど よい	67.4
職員給与費対医業収益比率 (%)	89.1	88.0	87.0	82.9	78.2	低いほど よい	92.1
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	29.0	30.4	31.8	29.8	28.5	低いほど よい	33.8
医師1人あたりの入院患者数 (人)	15.9	16.0	16.8	18.8	19.3	多いほど よい	15.5
医師1人あたりの外来患者数 (人)	9.7	9.9	9.6	10.1	10.1	多いほど よい	7.6

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による精神科病院全ての平均値。

2 こころの医療センター：許可病床数400床、稼働病床数348床（平成28年度より許可病床数も348床）

3 経常収支比率＝経常収益/経常費用

4 医業収支比率＝医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率＝職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率＝一般会計繰入金/経常収益

イ 一志病院

経常収支は、前年度に比べ574万円増の2,744万円の黒字となっています。

総収支は、2,726万円の黒字であり、前年度に比べ2億9,122万円改善しています。これは、平成26年度決算では会計基準の改正に伴い、特別損失に計上した退職給付引当金等2億8,566万円が、27年度決算ではなくなったことなどによるものです。

引き続き、入院・外来患者や住民健診等受診者の確保に努め、収益の増加につなげるとともに、材料費や経費等の費用の縮減を図り、一層の健全経営に努めていただきたい。

地域の過疎化、高齢化が進み、医療に対するニーズが高まる中、家庭医（総合診療医）育成拠点施設として、家庭医を中心とした地域医療を推進するとともに、住民健診等の予防医療や訪問診療等の在宅療養支援に取り組んでいるところですが、今後も引き続き、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努めていただきたい。

(参考)

項 目	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	備考	26年度全国平均	
							50床未満	50床～100床
1日平均入院患者数 (人)	36	34	36	27	33	多いほどよい	24	49
1日平均外来患者数 (人)	87	88	90	90	92	多いほどよい	98	141
患者1人1日あたり入院収益 (円)	25,692	27,220	26,415	26,785	25,354	多いほどよい	20,166	22,202
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,966	6,684	7,280	7,614	8,485	多いほどよい	7,185	8,048
経常収支比率 (%)	103.1	102.5	102.7	91.8	102.9	高いほどよい	96.7	98.5
医業収支比率 (%)	71.5	71.4	73.2	62.6	72.5	高いほどよい	67.7	78.8
職員給与費対医業収益比率 (%)	87.6	87.6	85.4	102.0	84.1	低いほどよい	77.7	66.4
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	37.9	37.8	38.3	41.3	36.2	低いほどよい	30.8	22.1
医師1人あたりの入院患者数 (人)	3.7	3.8	3.7	3.8	5.4	多いほどよい	6.0	8.3
医師1人あたりの外来患者数 (人)	5.9	6.7	6.3	8.5	10.0	多いほどよい	17.1	16.8

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による許可病床数50床未満及び許可病床数50床以上100床未満の病院の平均値。

2 一志病院：許可病床数86床（全国平均許可病床数50床以上100床未満）、稼働病床数46床（全国平均許可病床数50床未満）

3 経常収支比率＝経常収益/経常費用

4 医業収支比率＝医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率＝職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率＝一般会計繰入金/経常収益

ウ 志摩病院

経常収支は525万円の赤字ですが、主に減価償却費の減により前年度に比べ赤字幅が874万円縮小しています。

総収支は368万円の赤字ですが、前年度に比べ赤字幅が1,911万円縮小しています。これは、平成26年度決算では会計基準の改正に伴い、特別損失に計上した貸倒引当金879万円が、27年度決算ではなくなったことなどによるものです。

指定管理者制度を導入していることから、平成24年度以降の三重県病院事業会計には、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれておりません。このため、志摩病院全体の収支状況を把握するため、病院事業会計の損益計算書と指定管理者から提出された収支報告書との合計額を前年度と比較すると、経常収支が8,639万円、総収支が9,676万円それぞれ改善しています。

指定管理者にあっては段階的な診療体制の整備を行い、内科系において24時間365日の救急受入態勢を平成28年5月から実現しているものの、一部診療科では常勤医師の配置が進んでいない状況も見受けられました。

引き続き、指定管理者と十分な連携を図り、地域のニーズを踏まえた診療機能の充実強化に向けて、今後とも取り組んでいきたい。

【参考】

1 志摩病院決算額 (対前年度比較:主な項目のみ)

(単位:百万円)

主な項目		平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	増減 (A)-(B)	主な増減理由
収 入	入院収益	2,125	2,127	△ 2	○延入院患者数(一般)の減 (H26:42,444人→H27:42,390人)
	外来収益	871	840	31	○延外来患者数(一般)の増 (H26:65,947人→H27:68,121人)
	負担金等	552	557	△ 5	○対象職員数の減に伴う現給補償の減 △9百万円
	長期前受金戻入	130	133	△ 3	○減価償却費の減少による減
	特別利益	21	0	21	○会計上の減額処理済債権の未収金への 復元による増
支 出	給与費	2,150	2,161	△ 11	○医師給の減 △40百万円 ○看護師給の増 36百万円 ○医療技術員給の減 △4百万円 ○介護職員給の減 △6百万円
	材料費	635	647	△ 12	○薬品費の減 △12百万円
	経費	831	866	△ 35	○委託費の減 △14百万円 ○光熱水費の減 △18百万円 ○修繕費の減 △17百万円
	減価償却費	392	399	△ 7	○償却対象資産の減
	特別損失	19	9	10	○貸倒引当金の計上による増
医業収支		△ 974	△ 1,066	92	
経常収支		△ 346	△ 432	86	
総収支		△ 344	△ 441	97	

(注) 1 決算額については、県決算額と指定管理者決算額の合計額(参考値・税込)である。県と指定管理者とのやりとりで二重計上となる収益・費用は除外している。

2 県から指定管理者への赤字補てんである経営基盤強化交付金は含めずに比較している。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金の推移 (支出ベース)

(単位:円)

	27年度決算額	26年度決算額	25年度決算額	24年度決算額
政策的医療交付金 (指定管理料)	481,948,000	474,816,000	465,881,000	450,247,000
経営基盤強化交付金 (赤字補填)	220,353,668	401,917,304	458,627,730	541,343,000
合計	702,301,668	876,733,304	924,508,730	991,590,000

3 志摩病院における救急患者の受入態勢 (平成28年5月9日現在) (△は隔週で対応)

区 分		月	火	水	木	金	土	日・祝
内 科 系	早 朝 (7:00~8:30)	○	○	○	○	○	○	○
	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00~22:30)	○	○	○	○	○	○	○
	深 夜 (22:30~7:00)	○	○	○	○	○	○	○
外 科 系	昼 間 (8:30~17:00)	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間 (17:00~22:30)	○			○	○	△	
	深 夜 (22:30~8:30)					△	△	

(参考)

項目	27年度	26年度	25年度	24年度	備考	26年度全国平均	
						100床～200床	200床～300床
1日平均入院患者数 (人)	204	206	206	207	多いほどよい	101	171
1日平均外来患者数 (人)	318	308	302	284	多いほどよい	269	420
患者1人1日あたり入院収益 (円)	28,444	28,325	27,099	25,455	多いほどよい	30,326	38,262
患者1人1日あたり外来収益 (円)	11,288	11,178	11,321	11,415	多いほどよい	9,247	9,706
経常収支比率 (%)	96.1	98.8	96.5	95.8	高いほどよい	96.7	97.2
医業収支比率 (%)	84.5	87.3	88.2	88.8	高いほどよい	85.0	87.8
職員給与費対医業収益比率 (%)	63.2	60.6	60.4	59.3	低いほどよい	58.4	56.9
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	18.5	22.0	25.2	29.2	低いほどよい	14.9	13.0
医師1人あたりの入院患者数 (人)	7.0	6.1	6.7	7.8	多いほどよい	7.4	5.9
医師1人あたりの外来患者数 (人)	7.2	6.1	6.5	7.2	多いほどよい	13.8	10.1

(注)1 全国平均は、総務省「地方公営企業年鑑」による許可病床数100床以上200床未満及び許可病床数200床以上300床未満の病院の平均値。

2 志摩病院：許可病床数350床、稼働病床数277床（詳細は下表参照）

志摩病院	許可病床数	稼働病床数
一般	260床	177床
精神	100床	100床
計	350床	277床

※73床は休床中

3 参考である志摩病院決算額（税込）を用いて算出している。

4 経常収支比率＝経常収益/経常費用

5 医業収支比率＝医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率＝職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率＝一般会計繰入金/経常収益

(2) 未収金の回収と発生防止について

平成 27 年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）は、前年度と比べて 4,295 万円増加し、7,801 万円となっています。これは、会計基準の改正に伴い、貸倒引当金の計上が義務化されたことなどにより、減額処理済みの未収金 4,171 万円を資産に戻したことによるものです。

未収金の回収については、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託等を行っており、平成 27 年度中に 416 万円を回収しているところではありますが、引き続き、回収に向けての取組を進めていただきたい。

また、平成 27 年度においては、540 万円の未収金が新たに発生してい

るため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：千円)

病 院 名	平成27年度末 (A)		平成26年度末 (B)		増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	284	48,622	134	24,918	150	23,704
一 志 病 院	20	966	14	478	6	488
志 摩 病 院	219	28,425	72	9,658	147	18,767
合 計	523	78,013	220	35,054	303	42,959

- (注)1 志摩病院に関しては、指定管理者による運営に移行する前の分(平成24年3月31日までに発生した分)であり、本庁(県立病院課)が所管している。
2 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位：千円)

病 院 名	新規発生	回収等	会計上の減額処理等	旧減額処理相当分	計
こころの医療センター	5,034	2,685	—	21,356	23,704
一 志 病 院	375	96	—	209	488
志 摩 病 院	0	1,387	—	20,154	18,767
合 計	5,408	4,168	—	41,719	42,959
(参考) 26年度合計	3,966	5,881	1,822	—	△ 3,737

- (注)1 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。
2 平成26年度は減額処理等を実施している。

第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきましたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入しています。

3病院の許可病床数は、平成27年度末時点で計836床です。このうち、志摩病院では、27年11月から一般病床の一時休床は73床となっています。また、一志病院では、療養病床44床が平成19年度から一時休床となっていました。また、家庭医(総合診療医)の育成拠点としての整備を行

うにあたって、24年4月に許可病床数を44床から40床に改めました。

なお、こころの医療センターでは、病院機能再編の取組の一環として、平成25年1月から52床を休床としています。

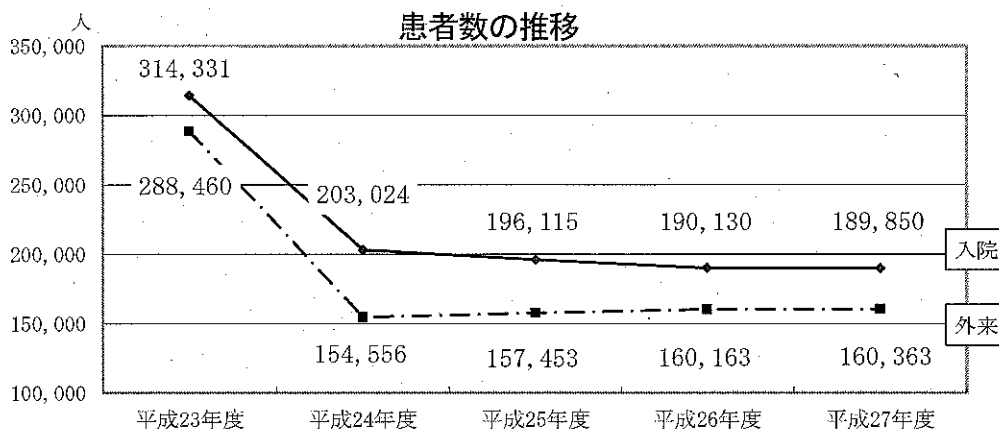
患者数の状況としましては、平成27年度の入院患者数は延べ189,850人（1日平均519人）で、前年度に比べ280人減少し、外来患者数は延べ160,363人（1日平均660人）で、前年度に比べ200人増加しています。

県立病院の概要

平成28年3月31日現在

病 院 名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (平成27年度休診中のものを除く)		精神科 内科 歯科 (内科・歯科は入院患者にのみ対応)	内科 外科 眼科	内科 循環器科 外科 脳神経外科 小児科 整形外科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉こう科 精神科 放射線科 泌尿器科 産婦人科 神経内科
病 床 数	一 般		46 (46)	250 (177)
	療 養		40 (0)	
	精 神	400 (348)		100 (100)
	計	400 (348)	86 (46)	350 (277)

(注) 病床数の()は、稼働病床数



(注) 平成24年度以降、総合医療センターの患者数は含んでいない。

2 経営成績

平成27年度の総収益は54億6,829万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が28億792万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が26億1,795万円、減額処理済み債権の資産復元にかかる特別利益が4,242万円となっています。収益は、主に一般会計繰入金の減により、前年度に比べ7,652万円減少しています。

総費用は53億9,334万円であり、内訳は給与費、材料費等の医業費用が50億8,677万円、企業債支払利息等の医業外費用が2億6,690万円、貸倒引当金に係る特別損失が3,967万円となっています。費用は、平成26年度決算では会計基準の改正に伴い、特別損失に計上した退職給付引当金等が、27年度決算ではなくなったことなどにより、前年度に比べ14億7,675万円減少しています。

この結果、純損益は7,494万円の黒字となり、前年度に比べ14億22万円収支が改善しています。

また、純損益から特別利益及び特別損失を除いた経常損益は、7,219万円の黒字となっています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成27年度(A)	平成26年度(B)	増減(A) - (B)
総 収 益	5,468,293,263	5,544,822,539	△ 76,529,276
医 業 収 益	2,807,920,743	2,702,665,295	105,255,448
医 業 外 収 益	2,617,951,262	2,842,157,244	△ 224,205,982
特 別 利 益	42,421,258	0	42,421,258
総 費 用	5,393,348,791	6,870,102,217	△ 1,476,753,426
医 業 費 用	5,086,775,113	5,186,494,598	△ 99,719,485
医 業 外 費 用	266,903,678	286,473,619	△ 19,569,941
特 別 損 失	39,670,000	1,397,134,000	△ 1,357,464,000
経 常 損 益	72,193,214	71,854,322	338,892
純 損 益	74,944,472	△ 1,325,279,678	1,400,224,150

(注) 本表の金額は消費税及び地方消費税を含んでいない。

3 一般会計繰入金の状況

平成27年度の収益的収入の繰入金は、20億8,817万円であり、前年度に比べ2億1,166万円減少しています。減少した主な理由は、志摩病院への医療行政に要する経費に対する繰入金の減によるものです。

資本的収入の繰入金は、7億4,861万円であり、志摩病院の企業債償還に対する繰入金の増などにより、前年度に比べ319万円増加しています。

繰入金の内訳

(単位：円・%)

項 目		平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A)/(B)
こころの医療 センター	収益的収入	888,601,000	919,477,000	△ 30,876,000	96.6
	資本的収入	212,919,000	212,237,000	682,000	100.3
	計	1,101,520,000	1,131,714,000	△ 30,194,000	97.3
一 志 病 院	収益的収入	328,602,000	321,158,000	7,444,000	102.3
	資本的収入	51,885,000	57,497,000	△ 5,612,000	90.2
	計	380,487,000	378,655,000	1,832,000	100.5
志 摩 病 院	収益的収入	770,880,000	957,293,000	△ 186,413,000	80.5
	資本的収入	482,795,000	475,679,000	7,116,000	101.5
	計	1,253,675,000	1,432,972,000	△ 179,297,000	87.5
県立病院課	収益的収入	100,096,000	101,917,000	△ 1,821,000	98.2
	資本的収入	1,013,000	0	1,013,000	皆増
	計	101,109,000	101,917,000	△ 808,000	99.2
合 計	収益的収入	2,088,179,000	2,299,845,000	△ 211,666,000	90.8
	資本的収入	748,612,000	745,413,000	3,199,000	100.4
	計	2,836,791,000	3,045,258,000	△ 208,467,000	93.2

(注) 1 収益的収入＝建設改良に要する経費以外の繰入金

2 資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成27年度の延べ入院患者数は101,950人（1日平均279人）であり、前年度に比べ798人減少しています。延べ外来患者数は61,920人（1日平均255人）であり、前年度に比べ1,551人減少しています。

（患者数の推移のグラフは15頁に掲載）

(2) 経営成績

平成27年度の総収益は32億8,363万円であり、診療単価の増等による医業収益の増などにより、前年度に比べ7,070万円増加しています。

総費用は32億3,227万円であり、平成26年度決算では会計基準の改正に伴い、特別損失に計上した退職給付引当金等が、27年度決算ではなくなったことなどにより、前年度に比べ10億1,917万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ10億8,988万円改善し、5,136万円の黒字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは16頁に掲載）

2 一志病院

(1) 患者数の状況

平成27年度の延べ入院患者数は13,203人（1日平均36人）であり、前年度に比べ898人増加しています。延べ外来患者数は21,255人（1日平均87人）であり、前年度に比べ310人減少しています。

（患者数の推移のグラフは15頁に掲載）

(2) 経営成績

平成27年度の総収益は9億46万円であり、入院患者数の増や外来診療単価の増等による医業収益の増などにより、前年度に比べ1,779万円増加しています。

総費用は8億7,319万円であり、平成26年度決算では会計基準の改正

に伴い、特別損失に計上した退職給付引当金等が、27年度決算ではなくなつたことなどにより、前年度に比べ2億7,343万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ2億9,122万円改善し、2,726万円の黒字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフは16頁に掲載)

3 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成27年度の延べ入院患者数は74,697人(1日平均204人)であり、前年度に比べ380人減少しています。延べ外来患者数は77,188人(1日平均318人)であり、前年度に比べ2,061人増加しています。

(患者数の推移のグラフは15頁に掲載)

(2) 経営成績

平成27年度の総収益は11億8,059万円であり、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金にかかる一般会計繰入金金の減などにより、前年度に比べ1億6,325万円減少しています。

総費用は11億8,428万円であり、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金の減などにより、前年度に比べ1億8,237万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ1,911万円改善し、368万円の赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフは16頁に掲載)

(参考)

患者数の推移 (単位:人)

